

ベニドウダン

Enkianthus cernuus (Siebold et Zucc.) Makino f. *rubens* (Maxim.) Ohwi
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は11箇所である。県内での生育地が限られており、園芸目的で採集される恐れが高いため、県域準絶滅危惧とした。

種の特徴

山地に生える落葉低木。葉は枝先に集まり、葉身は倒卵形～倒卵形。5～6月頃、枝先から総状花序を下垂し、5～8個の朱紅色の花をつける。萼は広錐形で深く5裂し、裂片は狭三角形で先は鋭くとがる。花冠は広錐形で縁はふぞろいに細裂する。

分 布

本州（関東地方、中部地方南部、本県、近畿地方、中国地方瀬戸内海側）、四国、九州に分布。県内では、越前市、敦賀市、美浜町、若狭町、おおい町で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である森林の開発。植生遷移による生育環境の悪化。園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔 (1989b)、福井県植物研究会編 (1999)

市町別	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
生育情報	○	○		○		○						○					

サツキ

Rhododendron indicum (L.) Sweet
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は22箇所である。県内での生育地が山地の川岸に限られており、生育基盤が脆弱で、園芸目的で採集される恐れも高いため、県域準絶滅危惧とした。

種の特徴

山地の川岸の岩場に生える半落葉低木。高さ0.5～1m。葉は披針形または狭披針形、先はとがり、先端に腺状突起があり、淡褐色の剛毛が散生する。春葉と夏葉はやや同形。5～6月頃、枝先の1個の花芽から1～2個の花を開く。雄蕊は5本。

分 布

本州（神奈川県以西のおもに太平洋側、近畿地方、中国地方）、九州に分布。県内では、坂井市、勝山市、大野市、越前町、南越前町、美浜町で確認されている。

生育を脅かす要因

河川の開発。植生遷移による生育環境の悪化。園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔 (1989b)、福井県植物研究会編 (1999)

市町別	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
生育情報				○			○	○				○			○	○	

シロヤシオ

Rhododendron quinquefolium Bisset et S.Moore
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は5箇所である。主に太平洋側にみられ、県内の生育地は分布の限界と考えられる。県内での生育地は限られており、園芸目的で採集される恐れも高いため、県域準絶滅危惧とした。

種の特徴

深山に生える落葉小高木。高さ3～6m。葉は枝先に5枚輪生する。葉身は菱形または卵状菱形、先はやや鈍い。5月頃、枝先の1個の花芽から新葉とともに1～2個の花をつける。萼は杯形、5裂し、花冠は白色で広漏斗形、先は広く開いて5中裂する。

分 布

本州（岩手県以南の太平洋側）、四国に分布する。県内では、大野市、越前市で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である森林の開発。植生遷移による生育環境の悪化。園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔 (1989b)、福井県植物研究会編 (1999)

市町別	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
生育情報												○			○		